

第76期 株主通信

上半期報告書

2019年4月1日～2019年9月30日

ニチレキ株式会社



証券コード：5011

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

ここに、第76期上半期（2019年4月1日から2019年9月30日まで）の概況をご報告申し上げます。

当上半期における我が国経済は、雇用・所得環境の改善が続くなか、各種政策の効果もあって、緩やかな回復が続きました。しかし一方で、通商問題を巡る緊張の増大、中東情勢や中国経済の先行き、海外経済の動向と政策に関する不確実性、金融資本市場の変動等により、景気の先行きは依然として不透明な状況にありました。

当社グループを取り巻く環境につきましては、公共投資は底堅さが増しているものの、原油価格をはじめとする原材料価格の変動や受注競争の激化など、引き続き厳しい状況にありました。

当社グループはこのような環境のなかで、中期経営計画『Next 2020』の4年目として、「市場の拡大と探耕」を最重点課題とする成長戦略に基づき、各施策に取り組んでまいりました。

当上半期の業績につきましては、売上高は27,215百万円（前年同期比11.1%増）となりました。また、営業利益は1,277百万円（同117.4%増）、経常利益は1,388百万円（同99.3%増）となりました。特別損失に独占禁止法関連損失を計上したことから、親会社株主に帰属する四半期純損失は1,664百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益426百万円）となりました。

事業別に見ますと、アスファルト応用加工製品事業につきましては、自社製品および工法の設計・受注活

動を推進するとともに、原材料価格変動への対応、経費の削減等に努めた結果、売上高は8,897百万円（前年同期比11.8%増）、セグメント利益は1,675百万円（同19.1%増）となりました。道路舗装事業につきましては、発注物件への工法提案や受注活動と工事の着実な執行に加え、原価管理の強化を進めてまいりました。その結果、売上高は18,168百万円（前年同期比10.9%増）、セグメント利益は821百万円（同95.0%増）となりました。その他につきましては、不動産賃貸収入などにより、売上高は149百万円（前年同期比2.5%増）、セグメント利益は111百万円（同0.8%増）となりました。

当社グループを取り巻く環境につきましては、今後も厳しい状況が続くことが予想されますが、中期経営計画『Next 2020』の各施策を着実に推進し、引き続き業績の向上に努めてまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

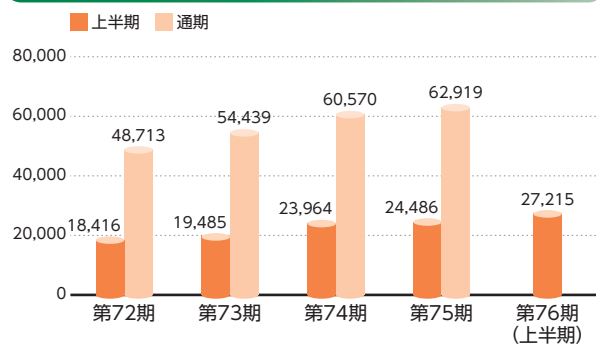
2019年12月



代表取締役社長
小幡 学

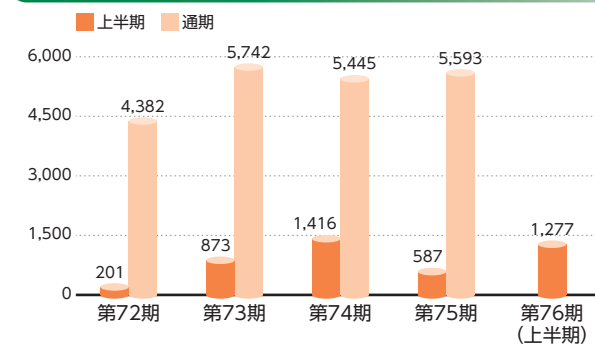
売上高

(単位：百万円)



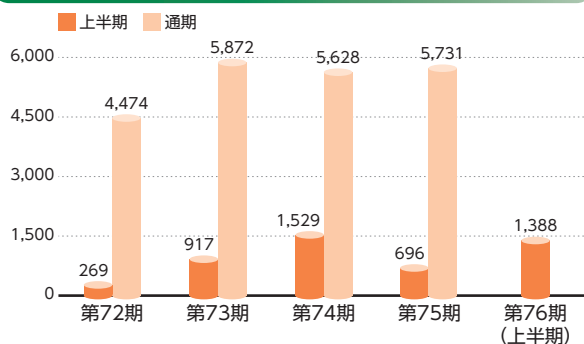
営業利益

(単位：百万円)



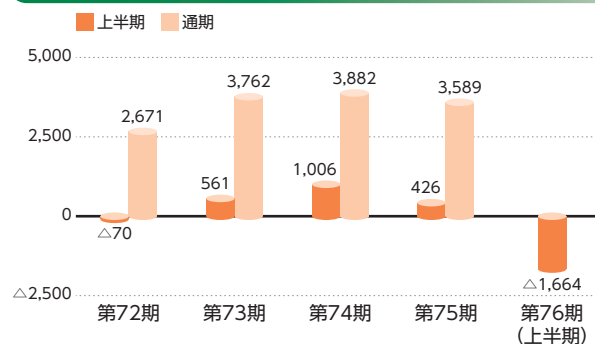
経常利益

(単位：百万円)



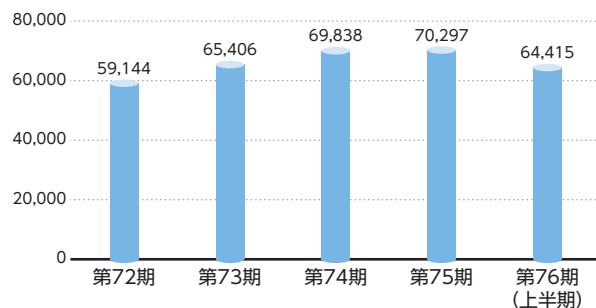
親会社株主に帰属する当期純利益

(単位：百万円)



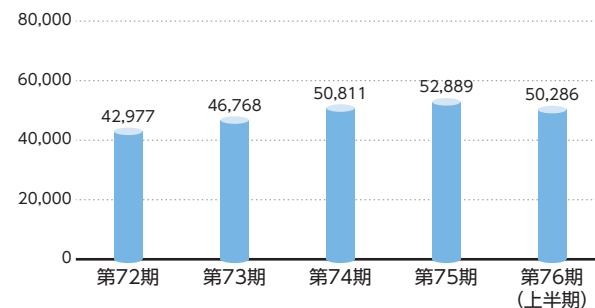
総資産

(単位：百万円)



純資産

(単位：百万円)



連結貸借対照表

(単位：百万円)

科目	前期 (2019年3月31日現在)	当上半期 (2019年9月30日現在)
資産の部		
流動資産	43,582	37,182
固定資産	26,714	27,233
有形固定資産	16,027	16,052
無形固定資産	680	621
投資その他の資産	10,007	10,559
資産合計	70,297	64,415
負債の部		
流動負債	14,771	11,608
固定負債	2,636	2,520
負債合計	17,407	14,129
純資産の部		
株主資本	50,445	47,863
資本金	2,919	2,919
資本剰余金	2,017	2,017
利益剰余金	47,287	44,705
自己株式	△1,779	△1,779
その他の包括利益累計額	2,444	2,422
その他有価証券評価差額金	2,205	2,213
為替換算調整勘定	12	△3
退職給付に係る調整累計額	226	211
純資産合計	52,889	50,286
負債及び純資産合計	70,297	64,415

連結損益計算書

(単位：百万円)

科目	前上半期 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当上半期 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
売上高	24,486	27,215
売上原価	19,778	21,551
売上総利益	4,708	5,663
販売費及び一般管理費	4,120	4,386
営業利益	587	1,277
営業外収益	121	122
営業外費用	12	12
経常利益	696	1,388
特別利益	22	22
特別損失	27	2,586
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失 (△)	691	△1,176
法人税、住民税及び事業税	188	371
法人税等調整額	77	117
四半期純利益又は四半期純損失 (△)	426	△1,664
親会社株主に帰属する四半期純利益又は 親会社株主に帰属する四半期純損失 (△)	426	△1,664

AI（人工知能）で舗装の安心安全に寄与するニチレキTECHNOLOGY

高度経済成長期に集中的に整備された道路舗装は、今後一斉に老朽化することが懸念されています。

しかし、その維持修繕に関わる予算は大幅に減少しており、従来のように、損傷箇所の全てをオーバーレイ^{※1)}などの舗装修繕工事に対応することが困難となっています。このため、ポットホール^{※2)}が開いたら補修するといった事後対策に頼らざるを得ないのが実情です。ニチレキは、限られた予算のなかで最大の安全・安心を提供するために、ポットホールなど重篤な損傷に進行する恐れのある「緊急性を要する損傷箇所」を検出し、環境に配慮した適切な補修材料で手当てする方法を開発しました。この「緊急性を要する損傷箇所」の検出は、従来の人の手による解析では作業時間が長くなり、非常に困難なものでした。そこで、NTTグループ^{※3)}と共同でAI技術による「路面点検・診断・措置一貫ソリューション」を開発しました。

※1) 既設の舗装上にアスファルト混合物の層を重ねる工法

※2) 舗装の表層がはがれてできる穴、へこみ

※3) 東日本電信電話株式会社（NTT東日本）、およびエヌ・ティ・ティ・コムウェア株式会社

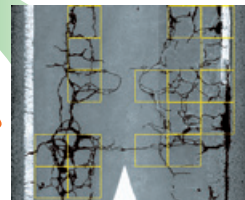
「路面点検・診断・措置一貫ソリューション」

▶点検



路面性状測定車
ロメンキャッチャーLYjr

▶診断



AIによる
自動ひび割れ解析

▶措置（補修）



環境にやさしく、
コストパフォーマンスに優れる
常温表面処理

さらなる成長を目指し、企業広告を掲載しました

ニチレキグループのさらなる発展に向けた新たな取り組みとして、本年7月、3週にわたり、日本経済新聞の朝刊に1ページカラー広告を掲載しました。



基本コンセプト

- 1 ニチレキの道づくりに対する情熱と、アスファルトに込めた材料開発への強い思いを語りながら、道路の舗装・補修になくてはならないアスファルトに関心を持っていただけるよう、親しみやすく表現しています。
- 2 ニチレキの革新的なアスファルトを紹介しながら、アスファルト舗装の「質の高さ」を身近に実感していただくことで、アスファルトが多様な機能と効果を期待できる材料であることを表現しています。
- 3 舗装材料のリーディングカンパニーとして、今後も革新的なアスファルトを創り出して社会に貢献していくため、決して立ち止まることなく挑戦し続けるニチレキの強い企業姿勢を表現しています。

※ 当広告は、当社ホームページ「お知らせ」（2019年7月29日掲載）にてご覧いただけます。

株主メモ

事業年度 毎年4月1日から3月31日まで
単元株式数 100株
定時株主総会 毎年6月
期末配当基準日 毎年3月31日
公告方法 電子公告
株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社
同事務取扱所 168-0063
(郵便物送付先・
お問い合わせ先) 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社証券代行部
Tel.0120-782-031 (フリーダイヤル)

(お知らせ)

三井住友信託銀行株式会社のフリーダイヤルまたはホームページ

●フリーダイヤル 0120-782-031

●ホームページ <https://www.smtb.jp/personal/agency/index.html>

ご注意

▶住所変更、単元未満株式の買取等のお申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。

なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の
口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

▶未払配当金の支払いについて

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。